

令和8年4月 新しい挑戦

わたしを変える
未来が変わる



茨城県立



日立産業技術専門学院

Ibaraki Prefectural Academy of Industrial Technology at Hitachi



日立産業技術専門学院は

職業能力開発促進法に基づき、茨城県が設置した職業能力開発施設であり、カリキュラムは厚生労働省が定めた技術・技能の習得に特化した実践的なものです。

これまで**ものづくり産業**は、「**男性の職業**」というイメージが根強くありましたが、ロボットやIT化された工作機械の導入によって、現在は性別を問わない「**女性も活躍できる職業**」へと姿を変えています。

このため、日立産業技術専門学院では、これまでの「金属加工科」と「機械加工科」の訓練カリキュラムを見直し、「金属クラフト科」と「PC・CAD科」へ令和7年4月からリニューアルしました。

日立産業技術専門学院で学ぶ7つのメリット

／MERIT

メリット1

少人数制でていねいな技術指導

金属クラフト科、PC・CAD科ともに、15名に対して2人のテクノインストラクター（指導員）が配置されており、きめ細やかな指導を行っています。

／MERIT

メリット4

実技中心のカリキュラム

カリキュラムの約2／3が実技で、基礎から学ぶので高校普通科卒業の方でも安心して受講でき、実践的な技術・技能を身に付けることができます。

／MERIT

メリット2

正社員就職率100%

日立産業技術専門学院には、県北・県央地域の大手・中堅企業を中心に多くの求人があります。企業情報を豊富に持っているテクノインストラクターが、学生にていねいなキャリアカウンセリングを行っており、就職内定までマンツーマンでサポートします。

／MERIT

メリット5

充実した設備

3DCADやアーク溶接機等、実技の中心となる機器を1人1台使用することができます。

／MERIT

メリット3

社会で役に立つ資格の取得

資格を取得していると就職に有利になり、また就職後も資格が必要とされることが多くあります。日立産業技術専門学院では、溶接技能者評価試験、マイクロソフト オフィス スペシャリスト(MOS)のように、企業で重視される資格が取得可能です。

／MERIT

メリット6

社会人としてのマナー習得

社会人のマナーを学び、企業生活を送るうえで必要なルールを身に付けることができます。

／MERIT

メリット7

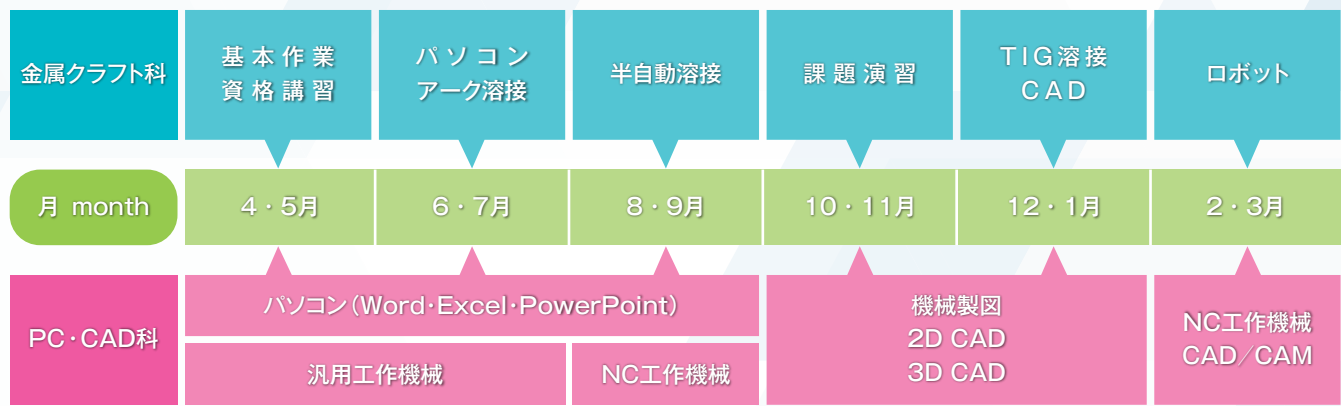
入校経費

入学金**5,650円**、年間授業料**139,600円**、教科書・保険代など**約4.5万円**（令和7年度実績）です。

※入学金、年間授業料は**一定の条件により、減免出来る制度もあります。**

※学生割引の通学定期が適用となります。また、車で通学する方は無料の駐車場が利用できます。

1年間の主な授業の流れ



1日の主な授業の流れ



人とロボットが溶接ぐ未来への懸け橋 金属クラフト科

定員15名
(年間)

高卒
1年訓練

金属クラフト科は、溶接や板金等、就職に役立つ技能を1年間で学びます。カリキュラムは、工場で広く使用される半自動溶接を中心に、アーク溶接、ガス溶接、ステンレス鋼を溶接するTIG溶接、さらにはDX時代に対応したロボット溶接まで、内容が充実しています。関連する資格を多数取得でき、溶接の技能者としての第一歩が踏み出せます。



7+3のスキルを取得できる

特別教育修了証

- ①産業用ロボットティーチング
- ②産業用ロボットメンテナンス
- ③アーク溶接
- ④自由研削といし
- ⑤粉じん
- ⑥クレーン(5トン未満)
- ⑦玉かけ(1トン未満)
- ⑧JIS半自動溶接技能者評価試験 SA-2F
- ⑨JISステンレス鋼溶接技能者評価試験 TN-F
- ⑩ガス溶接技能講習修了証

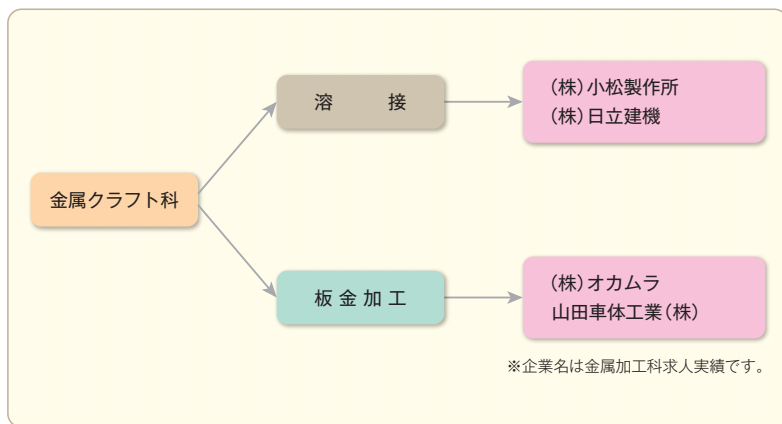
鉄と鉄をつなぐ

「素材と素材をつなげるものづくり」
小さな部品から大きな構造物まで、
2次元の図面が実際の製品へと形作られていく過程はまさにクラフト感覚、ものづくりの楽しさが感じられます。

アナログとデジタルとの協働

溶接の自動化は広く普及していますが、人にしかできない溶接もまだまだたくさんあります。学院ではアナログからデジタルまで幅広く溶接を学び、豊富な練習時間と材料で着実に技能を身に付けられます。

就職イメージ



仕事の様子



TIG溶接 (大陽日酸東関東(株))



組立 ((株)コマツ製作所)



材料加工 ((株)田代工業所)



半自動溶接 (日立建機(株))

修了生・在校生からのメッセージ

R5年度
修了

日立建機株式会社
小野瀬 楓 哉さん

金属加工科で学んだ溶接技術が役に立っています。モノづくりの楽しさ、やりがいを感じる会社に就職できました。

R4年度
修了

株式会社 SMC
大 峰 聖 夜さん

事業内容は工場の生産ラインを製作するという、産業の自動化には欠かせないものです。景気に左右されない企業に就職できて良かったです。

R7年度
在校生

金属クラフト科
鈴木 暖 人さん

進路に迷っていたとき兄が学院を勧めてくれました。兄を見習って手に職を付け、資格取得や就職に向けて頑張っていきたいです。

テクノインストラクターからのメッセージ

溶接は手作業とロボットの2つに大別されます。手作業の溶接でも基礎からしっかり溶接技術を学べるので、初心者でもほとんどの学生が資格を取得します。また、ロボットを取り扱うための資格を取得し、ロボットと協働できる人材を育てます。社会に役立つ技術を、私たちと一緒に学んでみませんか？

パソコン操作から広がるわたしの未来

PC・CAD科

定員15名
(年間)

高卒
1年訓練

PC・CAD科では、パソコンを基礎から学び、機械図面のCAD技能を習得することで、図面に関わる設計や事務職の人材を育成します。また、機械図面の理解を深めるために、汎用工作機械やNC工作機械による機械加工にも触れ、より実践的な知識・技能を習得することができ、各種資格取得に挑戦することができます。



7つのスキルを取得できる

- ①マイクロソフト オフィス スペシャリスト Word試験
- ②マイクロソフト オフィス スペシャリスト Excel試験
- ③マイクロソフト オフィス スペシャリスト PowerPoint試験
- ④コンピュータサービス技能試験(情報セキュリティ部門)
- ⑤技能検定 機械・プラント製図 機械製図CAD作業 3級
- ⑥技能検定 機械加工 普通旋盤作業 3級
- ⑦自由研削という特別教育修了証

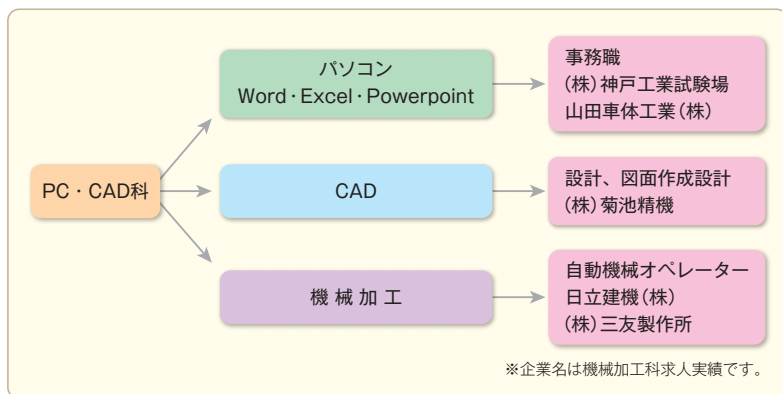
パソコンを活かす 事務・技術系の仕事

「パソコンを使いこなし、何かが始まる…。」
事務職に必要なパソコンスキル(Word…)。
CAD(機械製図)で描く製品デザインから、小さな部品作図まで、パソコンを活かす仕事へ！

未来の専門性！

パソコン操作、CAD、CAD/CAM、
機械加工…
高校普通科卒業の方でも安心して、
基本から学び自分に合った職種を探し、
未来の夢を叶えよう！
パソコンが苦手でも大丈夫！

就職イメージ



仕事の様子



修了生・在校生からのメッセージ

R3年度
修了

日立建機株式会社
保田 空美さん

機械加工部でNC旋盤を担当しています。学院では、汎用旋盤の技能検定2級にチャレンジをして合格できました。今はこの技術を活かして、仕事にも役に立っています。女性でもできるので是非、学院に来てください。

R2年度
修了

株式会社青山製作所
原田 美羽さん

茨城事業所で生産管理をしています。壊れた部品や機械の修理が担当ですが、図面が読めないものを作ることができないので、学院で機械製図やCADなどを習って本当に良かったです。

R7年度
在校生

PC・CAD科
川田 大翔さん

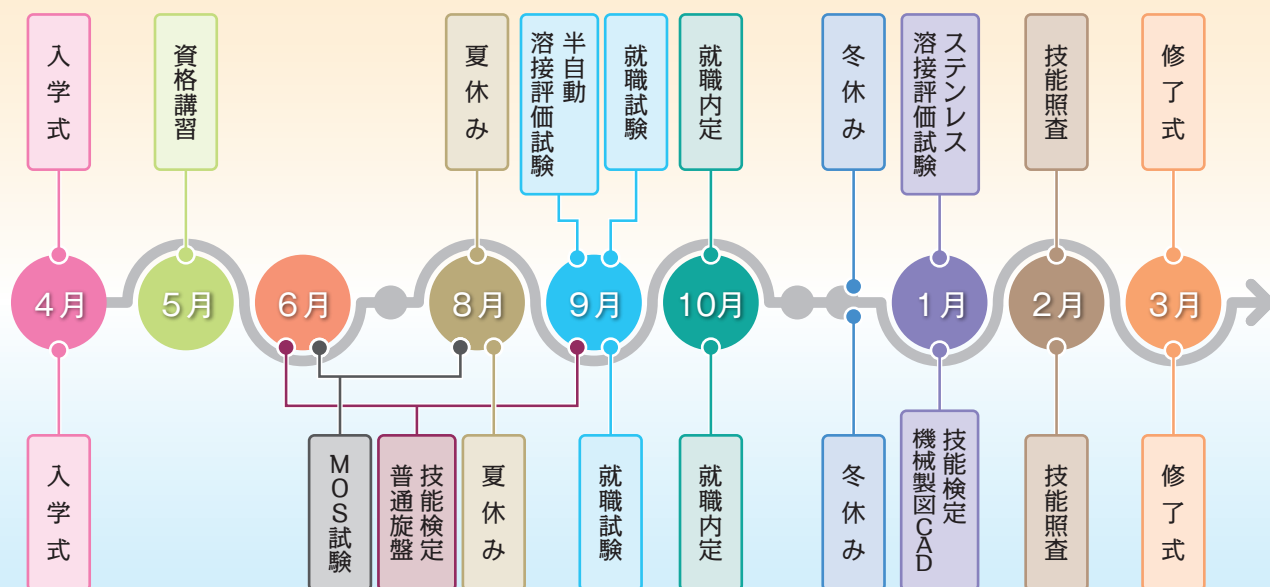
パソコンやCADについて学んで幅広い専門性を身に付けたいと思い、入学を決めました。初心者でも最初からいい指導を受けることができます。

テクノインストラクターからのメッセージ

PC・CAD科では、パソコンにさわったことのない初心者の方でも操作を覚えられるようにていねいに指導をしていきます。パソコン操作に加え、CAD(機械製図)を使った図面作成やNC工作機械などの取り扱い方法を学ぶことができます。積極的に資格試験に挑戦し、取得することで自身の成長を実感することができます。

未来へのステップ

金属クラフト科



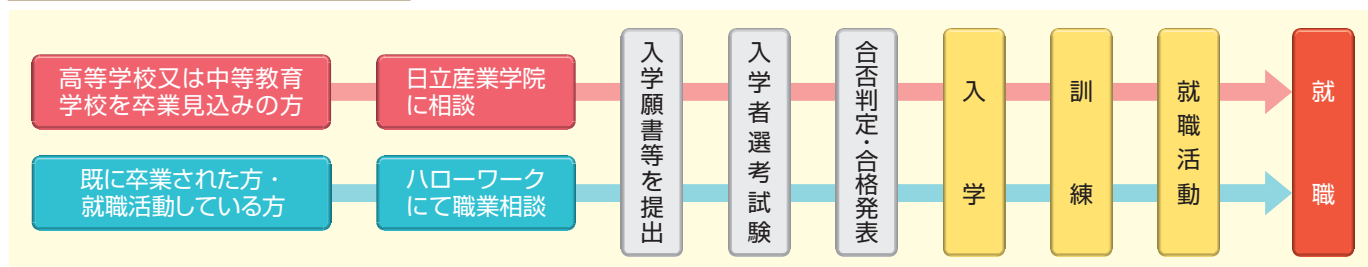
希望企業へ入社！社会人デビュー！



PC・CAD科



入学申し込みから就職までの流れ



令和8年度4月入学生募集概要

1 自己推薦入学者

試験日程	出願期間	令和7年7月1日(火)～8月20日(水)
	試験日	令和7年8月27日(水)
	合格発表日	令和7年9月3日(水)
出願資格	高等学校又は中等教育学校を卒業(令和8年3月に卒業見込みの者を含む)若しくはこれと同等以上の学力を有すると認められる者	
推薦条件	次のいずれにも該当する者 1 県立日立産業技術専門学院を進路志望先の第一位として考えている者 2 希望訓練科の目的を理解し、将来、技術者として活躍を希望し、入学後、技術・技能等の習得が期待できると認められる者 3 人物に優れ、勤勉であるとともに健康である者	
出願書類	1 入学願書・受験票(電子納付又は茨城県収入証紙2,200円・写真1枚・85円切手貼付) 2 自己推薦書(所定の用紙) 3 調査書(高等学校の所定の用紙<進学用>) ※調査書を取得できない場合は最終学歴を証明する書類(卒業証明書又はこれに準ずる書類) 4 志願理由書(所定の用紙)	
選考内容	適性検査、面接選考、書類選考	

2 学校長推薦入学者

試験日程	出願期間	令和7年9月11日(木)～10月1日(水)
	試験日	令和7年10月8日(水)
	合格発表日	令和7年10月15日(水)
出願資格	高等学校又は中等教育学校を令和8年3月に卒業または卒業見込みの者	
推薦条件	次のいずれにも該当する者 1 県立日立産業技術専門学院を進路志望先の第一位として考えている者 2 希望訓練科の目的を理解し、将来、技術者として活躍を希望し、入学後、技術・技能等の習得が期待できると認められる者 3 人物に優れ、勤勉であるとともに健康である者	
出願書類	1 入学願書・受験票(電子納付又は茨城県収入証紙2,200円・写真1枚・85円切手貼付) 2 推薦書(所定の用紙) 3 調査書(高等学校の所定の用紙<進学用>)	
選考内容	適性検査、面接選考、書類選考	

3 一般入学者

		A日程	B日程	C日程	D日程	E日程	F日程
試験日程	出願期間	令和7年10月9日(木) 10月29日(水)	令和7年11月6日(木) 11月26日(水)	令和7年12月11日(木) 令和8年1月14日(水)	令和8年1月29日(木) 2月6日(金)	令和8年2月9日(月) 2月20日(金)	令和8年2月24日(火) 3月9日(月)
	試験日	令和7年11月5日(水)	令和7年12月3日(水)	令和8年1月21日(水)	令和8年2月12日(木)	令和8年2月25日(水)	令和8年3月13日(金)
	合格発表日	令和7年11月12日(水)	令和7年12月10日(水)	令和8年1月28日(水)	令和8年2月18日(水)	令和8年2月27日(金)	令和8年3月16日(月)
出願資格	次のいずれかに該当する者 1 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和8年3月卒業見込みの者 2 学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和8年3月31日までに次の(ア)又は(イ)に該当する見込みの者 (ア)専修学校の高等学校(修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者。 (イ)高等学校卒業程度認定試験規則(平成17年文部科学省令第1号)による高等学校卒業程度認定試験に合格した者 3 上記ア又はイに準ずると認められる者						
出願書類	1 入学願書・受験票(電子納付又は茨城県収入証紙2,200円・写真1枚・85円切手貼付) 2 調査書(高等学校の所定の用紙<進学用>) ※調査書を取得できない場合は最終学歴を証明する書類(卒業証明書又はこれに準ずる書類)						
選考内容	調査検査、面接選考						

※B日程以降は募集状況により実施しない場合があります。

入校経費等

入学者選考試験手数料	入学料	年間授業料	教科書代ほか
2,200円	5,650円	139,600円	約45,000円
1 鉄道・バスなどの学生割引・通学定期が適用されます。 2 一定の条件により減免できる制度があります。(満額、 $\frac{2}{3}$ 減額、 $\frac{1}{3}$ 減額) 3 資格取得試験手数料などは、別途個人負担となります。 4 上記金額は変更になる場合があります。			

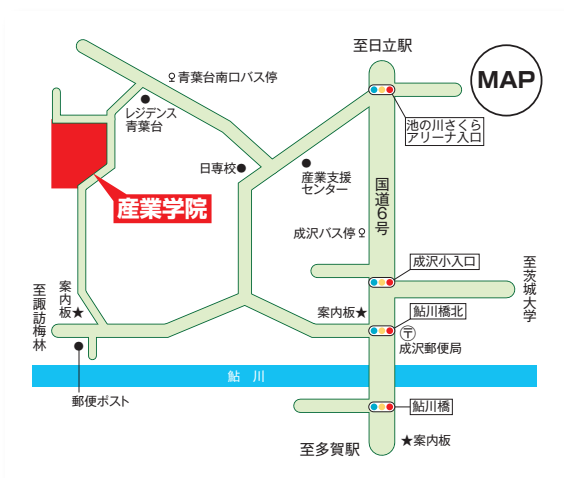
公共交通機関アクセス

JR常磐線 日立駅から

- 「大みか駅東口行」、「台原団地行」、「みかの原団地行」乗車
「成沢」茨城交通バス停下車 徒歩10分
- 「堂平団地行」乗車「青葉台団地南口」茨城交通バス停下車 徒歩5分

JR常磐線 常陸多賀駅から

- 「日立駅行」、「神峰営業所行」乗車「成沢」茨城交通バス停下車 徒歩10分
- 「堂平団地行」乗車「青葉台団地南口」茨城交通バス停下車 徒歩5分



茨城県立日立産業技術専門学院

〒316-0032 日立市西成沢町3丁目9番1号
TEL.0294-35-6449



学院HPはこちら

